

Hello,

今回の冬至は、この日を境に日照時間が長くなっていく祝福のときであり、くしくも来年の冬至まで続く分離の時代からユニティの時代への移行期間のミッドポイントの始まりと重なっています。

これから、人類は魂意識が肉体意識よりも優位となる1万3千年の猶予期間に必然的に入っていきます。多くの人は、創造の全体や欠くことのできない部分を再び感じるようになるでしょう。人類の永続的な魂の葛藤が生み出していた制限は解き放たれ、人間は叡智の存在としてふたたび自由に生きる能力を持つようになるでしょう。

私たちは今、自由に葛藤を手放すことができます。葛藤は、終わりを告げようとしている分離の時代において私たちのスピリット（いくたびの死を乗り越えてきた哺乳類の意識）が何百回と転生するなかで私たちを導いてきました。魂のように、私たちは人類のスピリットを導くことができます。長いこと採用されてきた存続の手段としての生き残り戦略のループから外れ、上昇するからです。

私たちの魂とスピリットの勇気が結びついた知恵は、存続するための努力がいらない場所へと私たちを導きます。そこでは、完全で普遍的な一体性が保たれており、そういう障害のないすっきりした状況のなかで私たちは自由にもがくことができます。そこでは私たちが人生を受け入れるように、人生も私たちを受け入れます。というのも、私たちは、創造主の“汝、我を知れ”という宣言にあるように、純粋なエネルギーを発し多次元的な現実の中に入っていくのです。

私たちをとおして、創造主は自らの創造物を目の当たりにします。つまり、次々に明らかになる創造の始まりの瞬間に対する私たちのレスポンスをとおして、知ることになります。そして、その自分たちのレスポンスによって、私たちは創造主を知ることができます。

期待も、ジャッジも、結論もありません。

ただ、自由があります。

そう、自由があるだけです。

魂は万能で、私たちはただ、自由なのです。

ゲリー・ボーンル （2011年12月12日）